滿洲日報

小米價値六吊九百文至六吊二百文
紅糧價値五吊二百文至五吊
合豆價値四吊八百文至四吊七百文

赤味噌 大樽 同九圓三十錢
札幌麥酒 四打入 同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒 全 同二十二圓五十錢

梨 桃 人形 ミルク 四打 全 同十一圓 全 同九圓五十錢 同十二圓五十錢

澤の鶴 サツポロビール 正味四斗四升入 十七圓 九圓七十錢 (宅合名會社調査)

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料 一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

來ル廿五日ヨリ三十日迄支那正月ニ付臨時休業致候也
明治三十九年一月廿二日
橫濱正金銀行
牛莊支店

淸酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號
日華運輸公司
遼陽 遼陽倶樂部
谷口今朝太郎

三井洋行
倉庫部
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者
●精製白砂糖新入荷物あり
今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度候上願
(電話百二十八番)

宅合名會社
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陵鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屆臨爲幸
總司理人 田中賴之助謹白

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餠油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餠豆米麥更爲合宜衆置有輪船一隻名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油[illegible]登事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事[illegible]幷行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚[illegible]知之正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北[illegible]南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幇火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己并另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛
油坊買賣元荳豆油荳餠雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寧𦪇船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商 瑞生洋行
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司
本行專售日本官造紙烟星象牌(斯達)櫻花牌(捷利)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)淸香撲鼻佳美適口而價値極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告
茲爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙烟雙鶴牌(隆沽來福)百合花(利利)櫻花牌(捷利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)
院主 森 鐈
醫長 鈴木昌平
營口永世街 (電話一五五番)

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街シツプ商會東
川喜鐵工場

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

隆慶公司
開設在東關門外自有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊砟子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
塩川商會
營口永世街二本町

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪丸三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店
營口永世街第一八四號平野町

飯塚工程局
材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

日商 東來醬園
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆疊經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價値甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之效少若用此油則醬味調和必諸不特于衞生之道受益不少衆爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非務張之談矣
本園主人謹白

代理 道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

雜貨卸商
在營口元神廟街
關東公司雜貨部

東京電報

●**川村大將の凱旋**（一月二十日特別通信員發）鴨綠江軍司令官川村大將以下司令部各員本日凱旋參內伏奏下賜品あり歸途參謀本部にて祝盃を擧けたり

●**捕虜交換費決定**（一月廿一日特別通信員發）露國より領入すべき捕虜交換費は愈々八千萬圓と決定したり

北京電報

（一月廿一日特別通信員發）

●**馬賊と露國の不撤兵** 黑龍江一帶の地には馬賊の跋扈甚しきを以て露軍は之を口實として撤兵せずとの情報ありたり

●**阿片專賣の上奏** 張袁周三總督は阿片專賣を實行せんとを上奏せり

●**東露の革命叛亂** バイカル湖以東は革命的反亂猖獗にして音信不通なり

倫敦電報

●**總選擧と各黨の新議席** 英國の總選擧に於て今日迄に自由党は二百〇五勞働党は三十三、統一党は八十五國家党は六十の議席を得たり即ち自由党は百〇七勞働党は二十六統一党は三の新議席を加へたる割合なり

●**スタンレー卿の落選** 保守党員スタンレー卿は西ホートン選擧區に於て落選せり

●**モーレー氏の當選** 現內閣員ジョン、モーレー氏はモントローズ選擧區に於て當選せり

●**社會主義者の暴動** 獨國に於ける社會主義者は選擧權の修正に反對して諸所に集會を催ふせしが終にハムボルグに於て暴動を起し瓦礫を以て警察官を襲ひ一人を殺し多數を負傷せしめたり暴徒は市中に防禦工事を急造して相鬪ひしが抜劍の警察隊の攻擊を受けて解散するに至れり（以上一月二十日發電）

●**駐日米大使の任命** 非律賓群島總督ライト氏は東京駐剳米國全權大使に任命されたり

●**白國の軍備修整** 白耳義國商業會議所は莫大の費用を投じてアンテワープ港に海岸防禦を施すへきことを決議せり、同國政府も亦たクルップ會社より大砲を購入して再び軍備を整へつゝあり

●**各黨の新議席** 英國總選擧最近の結果に據れは自由党選出代議士は二百四十四名にして勞働党は三十四名統一党は百十二名愛蘭土國家党は七十九名なり而して自由党は百三十九勞働党は二十七統一党は七國家党は八の新議席を得たる割合なり

●**駐英林大使の演說** 日本全權大使林子爵はバトレーに於て演說して曰く日本の發達進歩に就ては英國たるもの全然安心して可なり日本の發達進歩は英國に害なりと云ふが如き說は經濟學の原理に違反するものなりと（一月廿一日發電）

雜報

●**奧司令官へ勅語** 第二軍司令官奧大將凱旋參內の上親しく戰況を奏上したるに天皇陛下には左の勅語を下し賜ひたり

勅語

卿第二軍を指揮し遼東半島に上陸し南山の敵を破り爾後各地の戰鬪悉く偉功を奏し能く其の軍の務任を達し洵に朕が望みに副へり朕今親しく作戰の經過を聞き更に卿の勳績と將卒の忠勇を嘉賞す

●**對露交渉の開始** 對淸協商に次きて來るへき問題は滿洲行政、漁業權、樺太境域、通商條約の改正等を包括する對露交涉なるが我が政府は特派全權を用ひす新任公使露京着の上普通の形式を以て直に談判を開始する事に內定したりと

●**陸軍側の二年兵役** 二年兵役論に就きては本紙の屢〻掲載せる所にして民間の意嚮は殆ど異議なしといふも差問なきも陸軍高級武官中には之を排する者今尚少からさる由にて殊に陸軍部內の二年兵役論は民間の二年兵役論と全く論據を異にし二年兵役制はもと多數の國民に軍事教育を與へ戰時に於て多數の豫備兵を得んとするものなれは民間の二年兵役論の如く之によりて若干の經費を輕減するなどは思ひも寄らす却て教育費其他の經費に四分の一內外の增加を見るへき見込なり

●**淸廷の蒙王招宴** 兩宮は去る十七日乾淸宮に於て目下朝覲の爲め滯京中なる蒙古の各王公に宴を賜ひ伶人をして滿洲蒙古の樂を奏して興を添へしめたり是れ近時最も注目すへき事なるへし蓋し肅親王か理藩院を管理する事となりてより以來王は鋭意蒙古の邊防につき計畫する所あり自ら蒙古に前往し實情を視察するに決し唯其前往期未定なるのみなるは既に顯然たる次第なるか王は此程上奏して今日の際入京中の蒙古各王を撫慰するの最も必要なるを言ひしに兩宮の嘉納を得蒙古王公の召見せらるゝ事既に三回に及び其都度兩宮は國事多端の際各王公が蒙古の統治に最も注意を怠るへからさるに付きて懇諭あり今回の賜宴も亦た全く肅王の奏議に基づくが如しといふ

●**第二の極東太守** 露國にては極東露領防備の必要上より旅順に極東太守府を設けアレクセーフを以て太守に任したりしも日露開戰後旅順の陷落と共に有名無實と爲りたるを以て同太守府を廢止してアレクセーフをも他に轉職せしめたりしが滿洲撤兵後再ひ極東太守府を設けリチーツヰチ將軍を以て太守職に任しヘバロフスクを以て同太守の駐在地と爲すへしと云ふ

●**大藏證券の賣行** 新年に入り金融市場の益々緩慢となりしとは既報の如くなるが之が爲めに市中銀行は姑らく大藏省證券を買入れて其遊金の利殖を圖らんと欲するもの〻如く去九日も更に同證券一千万圓の賣行ありたり而して去四日以來の賣高を合すれは新年早々既に其賣行高二千万餘圓の多きに上り今や日本銀行に於ける同證券の殘額は五千万圓となりし由なるが此勢ひにては是又近日中に賣盡すならんといふ

●**韓國農業と貿易** 韓國は純[illegible]たる農國にして農人口は全人口の八割を下らす租稅の大部分は農家の負擔に屬し外國貿易の消長も亦農業の盛衰に伴へり今最近五個年間平均の同國輸出重要品の價格を示せは即ち左の如し

品目	最要輸出品（十万圓以上）價格　圓
米	三、三七二、六二二
豆類	二、〇五三、七四八
蔘	一、〇一〇、九九九
牛	八〇四、八八六
生牛皮	一六四、一二四
鯨	一六〇、二九八
實棉	一四二、一七四
小麥	一三八、二九八
魚	一三五、五九三

●**獨乙服制改良** 獨乙陸軍は最近の陸戰に顧みて日本軍が使用し始めたるカーキイ色服と其肩章を參考として陸軍全部の服制を改良する事に決し其案は本年二月下旬發表せらるへしと

●**統監府附武官の任命** 韓國統監府には同府武官の官制を定められ陸海軍兩省より一名宛の武官を派遣する事と爲り陸軍省よりは村田少將(惇)同府附武官と爲り海軍省よりも少將若くは大佐中より人選派遣する由

●**豫算踏襲反對** 新內閣は前內閣の豫算全部を踏襲する外なき境遇に在るも加藤高明氏の如きは根本より前內閣の豫算に反對の意見を懷きつゝあれは或は一部の重要なる變更を行はるへしと云へり

●**政府委員の移動** 新內閣組織の結果前內閣に於て任命せる帝國議會の政府委員中轉任せる者あり辭職せるものあり其地位に異動を生したるを以て新內閣に於ては所管事務の異動者に對し更に不日夫々任命する筈

●**統監府模範農場** 韓國農事改良の目的を以て模範農場を設置し統監府の直轄と爲す筈なるが同農場には耕作、栽培、種子、肥料等の模範を示す外農事に關する調査をも爲し利源開發の資に供する筈にて其經費は先つ十五六萬圓とし內六七萬圓は最初の設備費に充て殘餘を以て經常費となす計畫なり

●**韓國行政區劃改正** 韓國行政區劃改正の件は昨年來の宿題なるが略左の九省を置くことに定められたる由

京畿省、慶尙省、全羅省、黃海省、平安省、江原省、湖南省、(忠淸道の改稱)咸鏡南省、咸鏡北省、

●**京都大學文科の新設** 京都大學に文科を設置せんとて昨今帝國大學にては之が豫算の編成を準備なし文部省に廻付し同省の會議に附せんと準備中の由なるやに聞くが愈〻此議決定せられたれば新渡戶、谷本の兩教授を中心として組織せらるへしといへり

●**官線三等客車大急行** 鐵道作業局にては三等客車のみを連結する東海道最大急行列車を運轉せしめ且三等旅客に適當する範圍に於て食堂車を加ふる計畫あり目下其準備中なりと

●**勿來の大海嘯** 十一日未明磐城海岸に海嘯あり場所は常陸磐城の國境より勿來附近に掛けて十日夜半より暴風と共に山の如き狂瀾押寄せ來り漁家の流出するもの數戶其他軌道の破壞、船舶樹木の流出あり人畜の死傷は取調中にて不明なるも損害意外に多かるへしと

●**支那馬の横濱着** 日本競馬俱樂部にて今春の競馬會に使用すへき支那馬十五頭は去る十三日頃横濱に着したる筈にて到着の上は直ちに籤引にて會員に頒つといふ

●**大阪商船會社增資方法** 大阪商船會社は昨二十二日定式總會後臨時總會を開き現在資本金一千一百萬圓に更に五百五十萬圓を增加し一千六百五十萬圓と爲すの件を附議する筈又た社債募集法を變更する件をも附議したる筈なりといふ

●**生駒進水式** 生駒進水式は三月上旬頃にして建造主任は筑波と同しく山田造船總監なりといふ

●**捕虜の同士打** 去る八日丸龜收容の捕虜中七十名と十五名の二組酩酊の上、爭鬪し輕微の傷者十數名を出せりと

●**猪熊夏樹翁の短歌** 本年宮中の御講書始に破格を以て國書進講の名譽を荷ひたる猪熊夏樹翁は恩命に接し過日上京し直に宮內省に出頭したるに恰も新年宴會の當日なりしかば翁にも酒饌を賜りしより翁は天恩に感激して左の一首を詠したりと云ふ

けふこゝにたまはる御酒はやがて我
老ひをやしなふくすりなりけり

●**東都の花信** 我營口は是れより漸く氷雪の中に鎖されんとし而して故山の花信早くも已に春を告げ來る曰く日比谷公園の梅は昨今の暖氣に促されて紅梅は既に見頃となり白梅亦二三分通り咲き初めたれは十四日の日曜あたりは見頃なるへし其他江東の各園何れも莟を綻び初めたれは疎影を踏んで暗香に吟嘯する風雅の人少からすと

●**輕便鐵道の收入** 營口牛家屯間の手押輕便鐵道は非常なる利便を旅客に與へつゝあるが鐵道それ自らも多大の收入を得つゝあり今昨年十二月十日より本年正月九日に至る一ヶ月間の狀況を記せんに收入金額三千四百六十六圓五十錢にして一日の最高收入は一月七日百九十四圓七十錢最少收入は十二月十九日三十三圓なり（此日は雪天にして旅客甚だ尠し）車數は現時一百臺なるが一ヶ月間一人押車は二千六百十回二人押車は千九百八十回なりしと云ふ

●**保證金納附延期の眞因** 四十人の鐵道輸送營業被許可者中被許可條件に從ひ保證金二万圓を納附せし者は一昨日の本紙に記載せる如くなるが今ま其の納附期日に付て調査するに大底は十四五日以後即ち指定納附期日の間際にあらさるはなし抑も之れ如何の原因に基因せしものなるか邦人單獨の出願の分は暫く云はす其の出願件數中最大部分を占めたりと稱へらるゝ日淸人合同の部分に付て觀察するに其の原因は疑もなく保證金に對する淸國人の杞憂に在りたる也蓋し淸國人側の心中に以爲らく斯の如く連名の出願たるに拘らす營業權獨り日本人に下附せられたりとせば營業開始の爲に保證金二万圓を納附すとせば其の納附者は勢ひ日本人ならさるべからす假令實際に於ては二万圓は淸國人より支出すと雖も表面上に於ける保證金の納附者は日本人にして表面に於ける二万圓の所有者は日本人也果して然らは假令合同者たる日本人は充分信用するに足り自ら進みて保證金に對して危險を與ふる無しと爲すも若し其の合同者に於て後に第三者より債務を負擔する事ありとし而して債務履行期日に及ひ合同者に於て債務を履行する能はすとせんか第三者たる債權者は必然に保證金に於て其の權利を全ふせんと計るへし其の場合に及へは果して如何實際に於ける保證金の支出者即ち其の所有者たる淸國人は爲に損失を觀る無くして止まるへきか蓋し甚た疑問也即ち淸國人側に於ける保證金に對する此の疑念は彼等か保證金の支出を俄に肯んせさりし唯一の原因也幸に軍政長官に於て機宜の處置に出て保證金に對する彼等の疑念を一洗する所ありたる結果彼等も初て安堵する所ありしと雖も爲に納附に付て甚た期日を遲れたり以上の杞憂は納附を延期せし唯一の原因たるは爭ふへからす更に利益の計算に鋭敏なる淸國人か二万圓を納附して營業を開始する者か總体に於て幾人となるか少數なるか多數なるか少數なれは二万圓を納附するも割に合ふへし多數なれは即ち損失のみ、暫く成行を觀察するに若かすと考へたる事併に合同に關する純益の配分等も幾分か延期の原因たりしは疑ふへからさる如し之を要するに鐵道問題は以上諸種の原因に依り一時甚た行きなやみの形ありたるも遂に十有餘名の保證金納附者を出し豫想以上の開業者を見るに至りしは獨り斯業の爲のみならす洵に日淸兩國の爲に賀すへき次第也本問題日淸人合同の先驅となり自今或は合同の業務頻々として成行するに至らんか

●**評議員會の結果** 既報の如く日本人會第三回評議員會は去る廿日午後七時より同會々議室に於て開催せり出席議員は十有餘名にして豫て配布の議案を逐一討議に附し即ち會計監督には滿場一致を以て正金の中村支配人に依囑し區長選任は委員を選ひ選擇の上決する事となりたり尙九間九郎外三名の提出に係る議案中理事一名聘雇の件は各議員共賛成し其任用に就ては會長に一任する事に決し他の議案は時間の都合に依り次會の會議迄宿題となして閉會せりと因に同日は特に與倉長官臨席せられ一場の訓示及ひ同會に對し種々なる希望等を述へられたりと云ふ

●**鐵道輸送業者の集會** 過般二萬圓の保證金を納入して許可を得たる鐵道輸送業者十二名は一昨日日本人會々場に集會し今後事業着手の節協同一致の必要あれば此際組合を組織せんとの相談ありし由なるが結局不得要領を以て散會したりと云ふ

●**登記法の實施** 昨年十二月一日より實施の筈なりし登記法は都合ありて延期したるか愈〻本月十六日より實施せられたり

●**長岡少將の來營** 大本營參謀本部次長として軍國の機務に參し我が滿洲軍をして曠古の大勝を得せしめたるに預つて力ありし陸軍少將長岡外史氏は本日當地に到着せらるゝ筈なりと

●**中村郵船出張所長の來去** 天津郵船會社出張所長中村克巳氏は支店長會議に出席する爲め一昨日來營昨日直に滊車にて大連に赴き歸朝の途に就けり

●**株券偽造者の護送** 原籍東京淺草區元吉町一丁目現時營口綏定門街西村萬吉方止宿關口定吉(卅五)は內地にて某會社の株券偽造詐僞取財と云ふ聞くも恐ろしき罪を犯し其儘當地に逐電し前記西村萬吉方に潜伏なし居るを長崎地方裁判所にて看破し當地領事館に逮捕方依賴し來りたるを以て一昨日彼か西北街貝島某方にて何か話合中を引致し本日千葉巡査護送長崎地方裁判所へ向け出發せりと云ふ

●**惡漢夫婦の退淸命令** 原籍東京市牛込區矢來町廿一番地士族現時當地元廟街雜貨商泰地瑞穗(卅五)及ひ原籍東京市小石川區水道端町現時瑞穗內縁の妻古川キン(廿四)の兩人は當地に於て亭主は私印私書僞造詐僞取財婦は高等淫賣をなし其上氏名詐稱と云ふ忌まはしき罪を犯し昨冬より當領事館にて留置審問中の所何れも證據不充分にて無罪放免となりたるも治安防害の廉を以て向ふ三ヶ年間退淸を命せられたるが彼れが今日迄の行動上餘程巧みなる魂胆あるも紙面の都合上次号より續々掲載すへし

寄懷京友　　函館　駒木根雲鵬

滿都光景耐驚神、欲認信書問故人、
憐殺男兒憂國涙、化爲碧血鐵城闉、

讀駒雲鵬諷詩事有感次韵賦示　　松野汝陰

薪膽十年欲展伸、折衝漫懼敗邦人、
和成臺閣論功日、幾萬黎元泣帝闕、

天　營口地方　自昨日午後六時　至本日午後六時

上り列車　旅順　發午後　二、〇三　五、三一

雜報

●本年財界の豫測　小山健三氏談話

昨年下半の氣配を受けたる本年の財界に就ては世間二樣の觀察あり一は昨年其端を開きたる外資輸入の勢ひ今後尙繼續せられ其割に內地生產業の勃興を見ず隨つて金融は緩漫にして金利は低落の外無かる可しとなすもの他は外資の輸入容易なるか如くにして其實容易ならす且又本年は內債の募集により引き上けらるゝ金額少なからさる上前途觀望の姿にありたる事業も亦勃興す可くして金融は再ひ繁忙の時期に入り金利は騰貴し再ひ日銀利子の引下を見るに至る可しとなすもの是れなり蓋し兩者共に其の理由あり而も共に極端の觀察たるの評を免れす

▲直言すれは本年財界の變轉は一に外資輸入の度合と事業勃興の程度とによりて決せられん昨年末株式界の活動は事業勃興の前驅にして本年の事業界は必す活動を免れさる可く又活動せさる可からさる可し而して政府の財政計畫は果して如何樣に變化す可きやを圖られすと雖も本年償還せらるゝ公債か第四回及ひ第五回の國庫債券なるに於ては其大部分は外國に輸出せられ居るか故に內地の市場を潤すものは蓋し極めて少額なるへし而して其際又內債の募集止む無きもの二億圓ありとすれは些少の外資輸入を見たりとて到底內地金融市場を甚たしく潤澤ならしむるに足らす故に昨年末靜調にて持越したる金融界も本年三月以後に於ては一時緊縮を免かれさらんさりなから事業の勃興すれは再ひ外資の輸入を誘導すへきを以て極端論者の想像する如き緊縮甚たしきには及はさるへし即ち大体に於て本年の財界は事業會社の增資擴張の勢を防壓する能はす又或程度迄事業界の興奮必要なれは金融界の今日よりも更に緩漫ならんことは望み難し而して上半期後半に於ては多少の繁忙を伴ふへきも大体は現狀を續繼すと見て大差無かるへきか

▲茲に一言注意すへきは戰後の海運業なり世間增加したる運輸力の利用に關し悲觀の說多きか如くなれとも日清戰後の實例を見れは今度の戰役には船舶の增加著るしきには相違無きも戰後我か事業界の活動と共に外國貿易の進捗を伴ひ海外に向つて航路の擴張を見るへく內地商品の荷動き頻繁を加ふる上內地沿岸の航海に於ては到底外國瀛船の競爭を許さゝるか故に增加せる運輸力も優に消化せらるゝを疑はす前途必すしも悲觀の要無きなり

●支那の將來　チャイナ、タイムス

▲支那中央政府の無力は泰西諸國に對する弱點の重なる原因にして諸總督及び巡撫の獨立の行爲は多數の過失と不始末とを起したり然りと雖も人民は今や其欠點を悟り改革は支那の爲めに必要なりとし諸總督及び巡撫相互に接近して聯合動作に出でんとしつゝあり彼等は固より國家の改革を擧んには多くの犧牲を供せさる可らさるを覺悟し居れり先づ第一に改めさるべからさる事は支那人一般に兵事を賤んで之れを好まさるとなり彼等若し此習慣を改めされば決して有力の軍隊を作ると能はさるなり蓋し支那人が戰爭を嫌ひ兵士を賤しむとの甚だしきは歐羅巴人が獄吏死刑官を視ると一般なり

▲人あり若し支那人に告ぐるに兵士は歐羅巴に於て尊敬せらるゝと云ふを以てせんか支那人答へて曰く數千年以前支那尙は幼稚にして若き國民の常に好める如く戰爭を好みたりし時代には兵士は支那に於ても尊敬せられたりと雖も支那の幼稚の心は漸次穩靜となり遂に支那人は兵は兇器にして君子の用ふる處にあらすと爲すに至りたり抑も泰西人は尙幼稚にして武を尙ぶの心ありと雖も年を經るに從ひ彼等も亦長者たる支那人の如くに殺伐を好まさるに至るべきなりと

▲右の如き議論あるに關せす支那には大改革將さに起らんとしつゝあり抑も支那の空氣は改革の香を以て充滿し有りとし有らゆる支那人は泰西の方法に從つて支那軍隊を組織し而かも其軍隊は支那の人口に應じて强大ならさる可からさるなりと覺悟したる者の如し

▲元來支那は眞面目にして從順品行正しくして謙遜なる國民なる而已ならす寒暑の極度にも慣れて能く之れに耐ゆるとを得且つ勉强にして耐忍力を有し一週に一回の休業をも要せすして年百年中勞働するを厭はす又末だ天然の元氣を消滅せすして充分に之れを貯藏し近來に至る迄は世界中國債を有せさる唯一の國民なれば此國民にして現時の武器を使用するを學び之に熟練するに至らば支那は實に優秀なる軍隊を生して莫大の權力を世界に振ふに至るへきや必せり實際有爲の將校に指揮せらるゝ時は支那人は善良の兵士たるを得べしとの事は千八百六十三年より千八百六十四年に亘りゴルドン將軍の下に長髮賊を征定したるを以て證す可きなり

▲支那の學者は現時支那の人民に向ひ紀元前百七十年漢の文帝の時支那と韃靼との間に戰爭ありたる時當時の軍務局にて起草せられたる議定書のとを想起せしめつゝあり其議定書に曰く一國民にして韃靼人が支那に接近せし如く近き敵國を有するときは左の三箇の事に注意するを必要と爲すと

第一　全境界に築城せさる可らさる事
第二　城中に充分の兵士を備へさるべからさる事
第三　境界に沿へる武庫に武器を滿して實用の準備を怠る可らさる事

現時に於て支那が全泰西を以て其敵と視做すとは昔韃靼人を敵と視做したると一般なり故に支那人は今日も漢の時代に作られたる議定書の敎訓を守らさる可らす抑も神は常に有力軍隊の側に在つて之れを助くと云ふ言葉は奈破列翁第一世の始めて發言したるものと信せらるゝと雖も昔時の支那帝王の一人も同一な言を發したると是れありといふ

▲支那人は再び戰爭するの必要なしと信じ疾に其軍隊を解散せしめ漸次軍人兵士を賤しむの風を來したりと雖も一旦狀況の爲めに之れを變ずるの必要を感ずるときは漸次再び軍人を尊重するの念を生す可きなり

▲支那人は優勢の軍隊を組織するは必要上避く可らさるなりとの事を理解したる以上は彼等又武器彈藥を泰西より輸入せず自から之れを製造するに非らされば全く泰西より獨立する能はすとの事を理解するに至る可きなり去れは支那は遠からすして武器製造所を起し鐵道を布設し自から自己の鑛山を採掘し製鐵所を建設するに至る可きなり蓋し此等の產業は相互に密着の關係を有するものなれはなり

▲支那の產業にして發達するに至らんか其賃銀低廉なるに由り支那は忽にして輸入者たる地位を脫し輸出者たる地位に達す可きなり斯る場合には泰西人は支那人と戰つて泰西の兵士の血を流したることの無益なりしを悟るべき而已に非らす睡眠せる巨人を覺醒せしむるの危險を理解するに至るへきなり

●本年の對淸貿易

昨年の對淸貿易は非常の盛況を示し十一月までの累計に於て輸出は八千八百餘萬圓に達し一昨年の十一月迄の六千百餘萬圓に對して已に二千七百餘萬圓の大增加を示し輸入は一昨年十一月迄の四千六百餘萬圓に比すれは約二百萬圓の減退を告けたり其詳細は左の如し

	輸出 千圓	輸入 千圓
一月	五、七九九	三、三三七
二月	六、一〇〇	一、五九四
三月	八、一五八	二、五四九
四月	七、八一五	三、三六六
五月	八、四四七	四、九三〇
六月	七、七一七	五、六七七
七月	八、〇九〇	四、五六二
八月	七、六〇三	三、六九八
九月	八、二八三	三、五七二
十月	九、五七〇	四、三九七
十一月	一一、〇一二	六、八〇七
合計	八八、五九四	四四、四八九
前年	六一、五一八	四六、四〇二
比較增	二七、〇七六	減 一、九一三

右の如く輸出の大增加を來せしは主として夫の綿糸を初め綿布海產物等其他諸雜貨の輸出增加に因り輸入の減退は主として棉花の他國より多かりし爲め淸國の輸入減少したるに因り羊毛の如き亦同樣の事情にて減少したるものに因れり

●机の塵

▲乃木大將曰く　內地では歡迎が盛んなさうだが實は蓑でも笠でも被つて歸りたい程でロスケの彈より歡迎が恐ろしいよステツセルを載せた鎌倉丸で自分も亦歸つたのは奇遇であつたが船中の優遇は自分に取つてお目出たいのやら何うやら分らぬとだ▲松田に感心なのは　貧に安んじて騷がぬ一事であらう現に議長をして居ても衆議院第一の貧乏人は彼であるが議長の椅子に倚つて居る時は丸で枯木寒鴉の態で貧乏相が顏に顯はれて居る併し耿介貧を守る所古武士の趣がある▲日本の新內閣員の平均年齡が五十一歲で少壯內閣といふが老大國の稱ある支那の內閣員は平均四十八歲で日本よりも尙一層少壯內閣である即ち瞿鴻禨が四十八榮慶が四十四鐵良が四十四徐世昌が四十八それに慶親王を加へて平均四十八歲に當るのである▲現內閣の名稱　曰く烏合內閣曰く第三流內閣曰く少壯內閣曰く泣付內閣曰く駈込內閣曰く駙馬內閣曰く鷹內閣而して今や又消極的歡迎內閣なる語は起れり蓋し前內閣を憎惡するの餘り其反動として暫く歡迎せらるゝを謂ふのである

●笑話一則

或餅好きの老人あり近頃寄せたる年始狀の端に

愚老も當年は七十の坂を三つ越し申候へども元來の餅好年は取ても餅丈けは達者にて新年は雜煮十六切を祝ひ申候今年は迚も娑婆の者とは思はざりしに生き永らへて再び太平の春を迎へ候のみか餅の數昨年より一つ殖え候は自らなから驚き入り候是れも偏に有り難き上御一人樣の御恩澤ゆゑと一面感涙に咽せび居り申候事に候七十幾年の間隨分餅道樂にて六十八州名物といふ餅は大抵味ひ候へども未だ御地の豆餅丈けは御緣之れ無く新御領土の名產是れさへ一つ戴き候はゞ何時此世を御暇候とも心置き之れ無く候小包にても一つ御送くり下さる間敷候や孫共を集め日々樂しみに待受け居り候事に御座候（滿南生投）

告示

告示

登記規則中改正の件

不動產登記規則中左の通り改正す

第十六條第一號中「千分の五十」を「千分の三十」とし同第二號「千分の十二」とあるを「千分の十」とす

告示

撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時左の食用品及び糧秣品を競賣に附す二十五日より現品の縱覽を許す

競賣品目

干飯七十石携行牛鑵二千八百三十六貫普通鑵詰肉一万二千四百十四貫鹽鯛三千二百四十四貫茶三十五貫砂糖六十貫甘味品十四貫干魚六百三十貫干野菜一千百二十五貫醬油エキス五貫精米二十九石割麥二十石

牛家屯兵站司令部

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

御忌法會

來る二十五日午後一時（營口時間）より修行

法然上人は日本念佛の元祖なれは宗の同異を問はす念佛を信ずるの人は參拜し報恩あらんことを案內申上候

永世街通り二本町西へ入る南側四軒目

一月二十四日　淨土宗開敎場

追て毎日曜日午後一時（營口時間）法話開筵

寫眞　永淸

奉天府　大南門裡路西

移轉並ニ別嬪新來披露

弊樓儀諸彦の御引立に預り日增に繁榮に向ひ候段難有奉謝候從て是迄の處にては手せまに御座候間今般西の辻西へ入る元小錦樓跡へ引遷是迄通り營業仕り候間何卒舊に倍し新來別嬪とも併て御引立あらんとを願上候

營口永世街平野町

御手がる會席御料理並に鋤燒

御花客樣　都樓主謹白

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

藝妓仲居新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル

高砂（電話一四五）

開業廣告

會席御料理

高等御旅館

弊店儀三十三年開業以來各位樣の御引立に依り日に月に繁榮を蒙り難有今後引續き御贔負を仰き幾分の御報謝仕度就ては今回滿洲第一のホテル奉天府滿洲ホテルを買受け來る二月一日より旅館及料理店開業可仕候に付彼の地に御出の節は是非共御光來の程偏に奉願上候尙各店共勉强專一に仕精々御便利相計可申尙新に藝妓酌婦を呼寄候に付御引立の程願上候也

月　日

本店　天津日租界　金城館（電話二二四）

支店　營口永世街　金城館（電話八三）　金城ホテル

支店　奉天府小西門外　金城館（電話特二四）　金城ホテル

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱主極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんとを伏て奉希上候

金城ホテル　旅館部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戸っ子

金城館料理部

緊急廣告

本會雇員をして各戶に就き本會々費を徵收せしめ候間本會印を捺押しある領收證と現金と御引換に御渡し相成度此段廣告候也

明治卅九年一月十八日

牛莊日本人會

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

博文館營口代理店

書籍、銘茶
賣藥、雜貨商

大坂屋

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

浅田飴（あさだあめ）

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

發賣

標子
木板
料木

營口青堆子

清水寧木局

澤龜は醇良にして風味高尚なり

札幌ビール
朝日ビール
並ニ
官府專賣口付紙卷煙 朝日 大和
酢 醬油
瓶詰 樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類
取次販賣

釀造發賣元

宅合名會社

大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內南街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

雜貨

醬油
味噌
清酒

營口西北街

阪神組

倉庫業

倉庫位置

郵船會社碼頭ヨリ西二丁余商船會社碼頭筋向イ河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸揚ゲ便最適當ナル位置

營口綏定門街(公和窰)院內

新玉號倉庫部

(電話一五七號)

正札 特別廉價

雜貨

賣出し

一婦人髮道具一切及化粧品色々
一防寒シヤツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋

永世街森病院隣

和清洋行

志田ます

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシヤルライト賣出し

スペシヤルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり

スペシヤルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシヤルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雜貨部

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

酒保品
諸雜貨
卸商

營口永世街甲百廿七號警務課前

神崎洋行

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

官製口付莨、文房具
和洋酒類
鑵詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣

白米 卸商

營口西北街

豐生洋行

(電話十三番)

大日本帝國醫科大學模範藥局御用

攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒

澤之鶴

滿洲特約大販賣

裕和盛販賣品目

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

清國營口西北街

裕和盛號支店

電話八十一番

裕和盛本支店所在地

○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本日本長崎梅香崎

裕和盛は清商中日本通の張本

澤之鶴は既に定評ある天美錄

御旅館

奉天 小西邊門內路北

茂林館

追テ

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ

家屋宏壯接待優遇

宮門抄

二十四日
意公奎順各假滿請 安　崑中堂得賞福字等件謝 恩　姚錫光謝賞副都統銜 恩　前殺虎口監督文鑑到京請 安
召見軍機　蒙古王公
順天府 練兵處 杜形　遞封奏　三件 三件 一件

上諭恭錄

二十四日奉
上諭甘肅鞏昌府員缺着興廉補授欽此

論說

滿洲進化論

吾嘗讀歐洲各國變法史。始則躍然喜。繼則蹙然悲。終則癈卷嘆息。悁悁流涕。而不覺其滂沱眼淚之何來也。夫變法者。爲進化之先聲。於此先聲之中。則有刀兵水火流離困苦相攻相擊之種種慘壯。於此種種慘壯之中。則以鐵血易此進化文明之結果。夫結果。豈易言哉。吾滿洲自甲午以迄今日。十二年中。極盡其種種慘壯。幸天不絕我。還我滿洲復我光明。而於此時此日。又爲一新天地之滿洲。夫滿洲之天地既新矣。唯此新佈置。新整頓。及種種諸新政。誠如新生之一赤子。而百事之待人扶持以成者也。然於今日新生之赤子。應如何之扶持。如何之調理。如何之培養。則庶幾可望其成長。於此成長之時代。又當如何養其性情。植其學業。而後可望其成立。嗟呼。今日之滿洲。何以異於此哉。今吾試將滿洲之宜創辦者、維持者、舉其要略而陳說之。而爲今日滿洲進化之前導。且爲異日滿洲進化之結果。夫今日之創扶持滿洲主義者。首宜破除滿洲之習慣。習慣不除。則舊俗不改。舊俗不改吾又安能望滿洲之有進化之一日哉。今欲破此習慣。非普行教育不爲功。教育之爲道。非一時一語之所能成就者。爲今日計。宜以五十家設一蒙學。五百家設一小學。千家設一中學。三年後。宜兵醫礦電工程政治諸學校。一時並設。而以中學卒業諸生。分科學習。不十年間。吾之人才。用之不竭取之有餘矣。吾又何患吾之事不立而舉有不成者哉。是故今日之學校。宜緩而實急。宜後而實先。此誠爲破除滿洲之習慣。培育滿洲之人才。而不容稍緩舉辦者也。今日俄已經平和矣。實爲我滿洲開通之時機。當此開通之際。萬國商業之畢集。百事興辦之創舉。中外必欲守此安寧。保此太平。吾必需設警察。練陸軍爲保持地方之平安。絕斷匪馬賊之窺視。方可爲中外持久平和之目的。此又不容稍緩舉辦者也。然吾竊當此滿目瘡痍之際。瘝難困苦之餘。何從集此巨欵。而爲創學校設警察練陸軍之舉辦。吾誠戚戚憂之。所謂巧媳不能作無米之炊。孰能以白手而竣事哉。是故不能不另設籌欵之法。籌欵之法。如紳富地畝等。今恤民之不暇。又安忍加此苛派。即如舊有各項捐欵。業充各項用費。坐今日之滿洲。誠籌無可籌。捐無可捐。千折萬折。其折而至吾滿洲之礦產乎。吾滿洲礦質。素號豐富。當俄人經營時。業經遍地勘視。而以黑龍江一帶之金苗爲尤旺。今宜集股開採。以天然利源。辦學堂警察陸軍諸大政。再以創設鐵路。以速運輸。開辦工藝。以興商務。并其他種種利國利民之舉。吾一一而創立之。興辦之。而尤以堅忍不拔之志以維持之。百折不屈之政法以鎭定之。滿洲之進化。行將與日俱進。二十年間。滿洲進化之結果。吾可攖而奉祀之。供養之。而吾之枯槁形容。轉而爲笑逐顏開。而吾之流涕太息。不自知而變爲手之舞之足之蹈之。而爲我滿洲前途不變之變之進化慶。二十年後進化之結果慶。吾尤爲歐亞兩洲之平和慶也。當軸者。其圖之。幸甚。

中外要聞

●駐俄欽使之來電　駐俄欽使胡惟德昨來電云悉來電現俄地漸次平靖遵詢俄政府心甚巨測俟與該駐京公使議約時務請詳愼籌商勿受其籠絡特此電希大部代奏速查邊地鑛產路綫諸惟自行開辦以杜彼意外要求是幸

●榮尙書與各堂會議　學部尙書榮大軍機與各堂會議現在各省風潮層見迭出推原其故皆由學生未能專心嚮學沾染習氣而監督教習又不善調停因是寬猛失宜若不設法整頓何以維持學界培植眞材昨已飭知學部司員速行妥訂學律頒發各省學堂以期一律遵守永爲模範云云

●請將盛京庫貯歸倂奉天　聞奉天將軍趙次帥電致政府云盛京之部庫前已奉　旨裁撤所有盛京戶部銀庫現在收貯金銀幣帛顏料等項請歸倂奉天之庫存儲以備供用三陵祭祀及東三省之用

●派員會審要案　聞刑部現審驍騎校松山罪犯因奸慘斃兒媳之命連日審訊該犯口供狡展未能畫招昨聞奉堂官諭派秋審處司官李君會同現審司員調往河南司嚴刑會審以備畫供具奏請　旨定擬云云

●戶部覆准　聞戶部覆准山西省存貯倉米悉照奏銷兵馬錢粮成例每穀一石抵米六斗易穀入倉其民欠及虧空米粮亦飭令改折交倉存貯至糜子蕎麥等項各處出產不同令該撫嚴飭各屬確訪時價易穀入倉不得故爲抵昂其偏僻小縣暫令米穀兼買陸續入倉以昭核實云云

●調查路工　奉天趙留守莅任以來勵精圖治百度維新聞將有興築馬路之舉日前曾派錢鑠氏金還氏兩觀察至本埠調查路工辦法與軍政署與倉氏討論一切昨已由東清鐵道回省大約濬垣明春必可動工築路云

●改良警察　警察爲保安要政趙留守所辦警務卓有可觀猶欲隨時改良以求完備聞日前錢金兩觀察來埠尙有考查警察之件云

●留學生有志興學　東京學堂私立多於官立故教育發達較速盖官立往往以經費難籌不能偏設私立則或合數村而建一公共學堂或合數塾而成一完備學堂即以學生之脩金作爲學堂之經費不必籌欵而欵自易集由數村推之一鄉由一鄉推之一邑由一邑推之邑邑仿而行之不數年而學堂可以徧興教育可以普及矣興學之策莫善於此淸國奉天留學生毓鍾氏日前以年假歸自東京過本埠聞與其舊好深言私立學堂種種之利益昨乘火車往瀋想某生平日有志興學此次假返里門必有一番大運動也

●調查官煙局辦法　東三省土田肥美宜於　粟爲土產一大宗關內稱爲東土趙次帥深慨以有用之土田種此害人之毒物擬咨商吉黑兩省將軍通籌一禁戒之法而又恐礙於稅釐因調查日本在臺灣設立官煙局之法暫行試辦

●趙次帥分區設學　趙次帥飭令學務處轉札各府廳州縣劃分學區以爲將來振興普通教育之基礎茲特照錄學務處札示如左

札發事照得現在和局大定應即分區建學寔行普及教育明止開案後學憲將親歷各府廳州縣劃分學區亟應先行調取簡明圖說以資考證今奉學憲發下辦法五條合亟刷印札發札到該　即便遵照務當趕緊塡寫并具簡明說帖限於三十二年正月開篆前申送本處以憑核轉毋得忽延切切特札

計粘單一紙表格說帖式各一張

一該　城內戶口幾何並學齡兒童幾何（奏定章程凡兒童自七歲至十四歲者謂之學齡）一境內鄉村（鄉村卽本地所謂屯堡）共若干處　一每鄉戶幾何並學齡兒童幾何　一每鄉距城之方向位置及距城若干里　一此鄉與彼鄉各相距若干里

叢談

●總裁　某科會試總裁滿人也其名曰祿生有奇癖凡父名兄名以及已名之字樣不敢寫不敢讀且不敢目睹偶於書上遇之輒整衣冠行三跪九叩禮入闈閱試卷若見此等字樣不敢卒讀捧其卷置之高几香花供之見已名則怒曰何大膽乃爾竟寫我名字來遂棄之因此落第者不知凡幾前科復掌文衡餘杭某生知其癖以數百金與其記室探其諱糸暨其毋其妻之名試文中悉避之揭曉竟擢高第

●總督　某督性嗜古每讀奇書恆徹夜不寐雖緊急公事不顧也督鄂時有某君由鄂臬升湘藩稟辭後行李眷屬均登舟矣忽得督署傳見札文乃命輿往進官廳靜坐以俟自辰至亥闃如也計無所出乃以二千金獻武巡捕巡捕笑曰試爲之濟則子之福不濟毋予咎也乃去備果品一盂置案側而隱其身於門外某督沸之覺歷三句鐘渴甚思飲督見案側佳果順手取而嚼之既而自語曰美哉果品適從何來美哉果品適從何來俄而仰視鏡中見有人影呼曰果品其爾所獻乎巡捕進稽首曰然某督曰有甚公事巡捕曰湘藩將赴任蒙大人召已至矣某督曰何不早言巡捕曰恐擾大人某督曰吾倦矣遣他赴任去就是說畢呵欠數聲隱几而寐武巡捕出縷陳其事湘藩悻悻而去

●總兵　某總兵某督之了姑爺也鑽營者趨之若騖而總兵則仗其妻之力有求必應一日某候補營一美委議價五千金委札將下適有八行書由京師至事遂中阻某候補乃求其次欲得某督第百計經營終不得遂嗣經了小姐進見某督日某人辦公勤愼且瓜期未屆撤之恐招物議了小姐乃投某督懷中將其鬚曰汝不允儂將拔此某督仍不允了小姐掩袂而啼某督曰勿爾吾將調某人以某缺而以督銷與某候補一面爲之拭眼淚了小姐曰儂不信某督曰然則如何而後可了小姐曰須立時下委札否則儂將違死某督乃命書吏辦稿了小姐親視盖印含笑言曰多謝汝儂今歸去某督堅留之翌日始返

NEWCHWANG, TUESDAY, JAN. 23, 1906.

THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXIV).

Japan has an absolute physical claim on Korea. She also acquired the strongest moral claim on the Peninsula after the Japan-China War. Is an economical claim anything? It appears to be the very peg on which is hung the claim of every Power concerned in the Morocco Conference. And the economic interests of Japan invested in Korea were larger in bulk than those of all the other Powers combined into one. Historical claims may count little. But Korea was first conquered by the Empress Jingoo 1660 years ago, remaining a 'tributary for hundreds of years. It was again subjugated by the great Hideyoshi as late as 310 years back.

With the preponderant triple claims—physical, moral, and economical—on Korea, Japan entered upon the arduous experiment of raising Korea upon her own feet. Japan hoped that her protege might prove deserving of the independence donated to her. History registers what she did between the two Wars. She took no notice of Japan's physical claim. Neither did she respect Japan's economical claim. The worst of all, she forgot her saviour—the author and donor of her very independence. She turned her back to her benefactor. Not only that. She further suffered herself to be a slavish tool of Cossack, in working the ruin of this benefactor. She would be slaughtered first on the altar of sacrifice, then to force Japan into the same doom after her. Korea's course after the Japan-China War was the height of intellectual and moral idiocy. It was more. No act of treachery more mean, more sickening, more fit to boil man's blood in a holy rage was ever charged against any other country. What did she do all this for? It was the same old story. The characteristic weakness of the weak—that blind reliance with self-abandon upon the apparently strongest support—remained the first principle of life to her. She had been disenchanted of China's seeming strength. She had cast China away. A new Power had just appeared upon the scene. Not Japan. But the prime mover in the 'Interference' fraud, who could dictate to the victorious Japan a humiliating submission. Cossack who, with his vast Empire and army, had posed as the unchallenged terror of the Eastern Hemisphere, and of the world. What was the indigent little Japan to this colossal Colossus of the North? Resist or even offend such a Power! No madness would be more suicidal. At least, such was the paramount notion that filled the mind of the Korean officials entrusted with the affairs of the State. The ignorant, oppressed, depraved masses wallowing in physical and moral filth, had nothing to do with politics. Truth to tell, they could do nothing in the matter, if they wished to. And the wish was utterly absent, as light is in blank darkness. The corrupted, sneaking officialdom loved their own unmerited authority and worthless life. They would let their country go to the dogs. But, the two dearest things in the world—their own authority and life—must be preserved at all cost. If not for a year thence, then for months. If not for a month, then days. If not for tomorrow, at least, for the day, let them enjoy both. If both could not be enjoyed at the same time, they could part with the authority. But, not with the dearer, sweeter life, if it meant nothing more than a breathing existence.

Was it any wonder that the Korean officials, who could interpret life in no other sense, chose to a man the Terror of the World for their common master. They shook like a leaf with fear, at an exaggerated news of the Bragovestinsk Massacre. What a terrible master! They would and must serve him as the meekest slaves. To court his favour, they would bring to full play the arts of treachery and intrigue, in which they were masters. And they did, too. They vied one another to earn an approving glance from their master who was very liberal in rewarding the faithful, and more extravagant in promises. What were Japan's physical and economical claims? How could the preoccupied slaves ever think of either? Did Japan savaKorea? Who ever asked her to? The crushing moral obligation, fiddlesticks! Japan would be crushed to jelly pretty quick! What would become of Korea? That never concerned any of them.

火車開行時刻

新民屯至溝邦子 上六、〇〇 下九、五七
營口至山海關 上八、二〇 下六、〇〇
山海關至唐山 上一二、一八 下六、二〇
山海關至天津 上五、〇〇 下五、五五
唐山至天津 上六、一〇 上一一、二八
塘沽至北京 上六、〇二 下一二、〇六
天津至北京 上一二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五

北京至山海關 上八、〇〇 下六、一〇
北京至天津 上一一、二〇 下五、四一
北京至塘沽 下一二、四〇 下八、三〇
天津至唐山 上一一、四二 下五、一七
天津至山海關 上六、二五 下六、二一
唐山至山海關 上六、〇〇 上一一、五八
山海關至營口 上七、〇五 下四、五五
溝邦子至新民屯 上三、〇〇 下六、五七

天氣豫報

北又は東の風晴れ
昨日の氣溫　最高溫度十三度三　最低溫度零下十度七

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話一六二） 店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 登瀛門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松迺家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本審三郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號 店主 前田九一郎

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街橋の湯角

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎
東京一流 かき飯

洋料理 和料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園搥

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

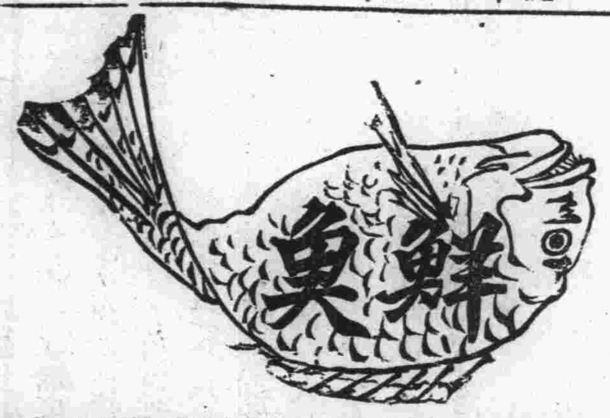
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

料理 鋤焼 喜樂亭 營口元神廟街 亭主元權□

御徳用品 新荷着急告
○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○亀甲万印醤油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○
林屋洋行 營口永世街營務課前南へ入



弊店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 森屋洋行
大連大山通り二丁目 仝支店
遼陽西門外 代理店 林洋行
奉天小西門外 代理店 米田洋行

御旅館 天津 芙蓉館 駐屯軍御用 並西洋料理（電話四十一番）

北京 扶桑旅館 東單牌樓大街路西 客室清潔料理鮮新

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番） 日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乘船取扱 館主米田藤吉

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin.
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒 菊正宗 新着!!
當分の内 營口明覽半定價にて差上ます
祝新年 雜貨商 加藤洋行（營口電話八十番）
本店 營口 支店 天津日本租界 出張所 遼陽 北京 大阪

萬事勉强乘車乘船好位置 營口中央市場前
旅館 東京樓 店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需應にず

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店
各位樣

奉天日本旅館 瀋陽館
家屋宏壯清潔 接待優遇懇切
開放全時＝開業 奉天小西門外大街路北

御旅館兼待合所 並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前 若松家
各位樣

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○汚塩魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

爲替相場（一月二十日）

日本向軍票百圓に付金九十五圓五十錢
上海は百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢
北京は天津と同直段

油豆行情（中暦十二月廿六日）

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗 四斗入 銀二十圓
麒麟正宗 三斗九舛入 同十七圓
正宗 四斗四舛入 同十五圓
瓶詰四打 同十一圓
鮪 四打入 同十三圓
ラツキヨ 五打 同十四圓五十錢
辛子漬 四打 同九圓五十錢
フキ 仝 同八圓
昆布巻 仝 同十四圓
螺 八打 同十三圓五十錢
鷲ミルク 仝 同十八圓

石炭（飯塚工程局）
上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓
仝 切込 仝 十七圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙